

2.「100年先の皮革産業を“明るく楽しい業界”にするために今わたしたちが“すべき”こと」

株式会社ロビココ 代表取締役 森田 正明 氏

1990年代以降、衰退の一途をたどる日本の皮革業界が、これから未来に向けて再び発展していくために“すべき”ことを具体的な事例とともに紹介します。

- ・“100年後の日本の皮革業界”をイメージする。
- ・“100年後の伝統工芸”を目指した地域産業の創出
- ・“日本らしさ”を取り入れることで“国産レザーの市場価値”を創出
- ・“レザーの新たな価値”を創る異業種とのコラボレーション
- ・「皮から革へ」皮革産業の本質は“資源活用”という社会貢献